

お勉強と教養

ツカノツバサ

— Senior Interactive Designer / Book Coordinator

『僕は君たちに武器を配りたい』 瀧本哲史

『人生ドラクエ化マニュアル』 JUNZO

『終末のフール』 伊坂幸太郎



高校生の頃、学校は好きだったが勉強が大ッ嫌いだった。暇があれば仲間達と遊んでいたかったし、バイトで稼いでいたかった。好きな事だけしていたかった。

だから、勉強を彷彿させるような、そんな小難しい本をお薦めするのは避けておこうと思う。“あんな”高校時代の僕でも読めるようなライトな本をお薦めしようかと。

てかね、そもそも頭のいいヤツだとか本好きのヤツとかって、どんどん自分で調べて読むでしょ？だから、今これを読んでる君、そう、その君。君はね、多分賢いコ！だって色々調べて、ここにたどり着けているんだもの。

僕はね「本なんて興味ねえよ！」ってヤツ、「本＝勉強」だと思ってるヤツにこそ薦めたいのです。そこで君にお願いがあります。

君の周りのその「読書に興味ないヤツ」に、この3冊いずれかを薦めてみて欲しいのです。つまり、君自身にBook Coordinatorになってもらいたいのです！

僕がお薦めする3冊は君だったら、理解するのに苦労はしないと思います。でも、その「学ぶことの面白さ」を伝えようと思ったら急に難しくなるのです！（実際、オレがこうやって四苦八苦してるのだから間違いない！！）
という訳で、この3冊の良かった点を本を読まない彼らにどう伝えるかを考えながら読んでみてください。

ライフネット生命の創業者である出口治明さんが、著書『人生を面白くする本物の教養』の中でこんなことを言っていました。

“私にいくばくか教養のようなものがあるとすれば、それを培ってくれたのは、「本・人・旅」の三つです。私はこれまでの人生で、「本・人・旅」から多くのことを学んできました。”

つまり誰かに本を薦めるという行為は、このうち2つを一気に満たす絶好の教養の機会と言うわけです。こんなに素晴らしい本の読み方はないです！是非とも試してみてください！！

最後に君たちより幾分か長く生きてるおじさんとして言わせてください。

勉強だけでなく、本を読み、人に会い、旅をしてください！

そして数多くの失敗たちで彩られた、かけがえのない青春を過ごしてください！ 